

## 女性の9割、男性の半数が紫外線気になる

### 日焼け止め選びのポイントは成分や香りより塗り心地

#### - 紫外線対策に関する調査 -

URL: <http://research.rakuten.co.jp/report/20130802/>

楽天リサーチ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森 学）は、紫外線対策に関するインターネット調査を実施しました。今回の調査は、7月16日から17日の2日間、楽天リサーチに登録しているモニター（約230万人）の中から、20代から60代の男女計1,000人を対象に行いました。

---

#### ■□ 調査結果 □■

---

#### ■紫外線が「気になる」女性は約9割、男性は約5割。

紫外線が気になるという回答は、全体では70.3%に上った。この回答を年代別に見ると、最低値が20代の63.5%、最高値が30代の77.0%という結果になった。10～20代の頃に1990年代後半の日焼けブームを迎えた層は、反動で今紫外線が気になるのだろうか。

またこの回答を性別に見ると女性は92.0%という高い結果を出す一方、男性は48.6%にとどまっている。40代で97.0%、30代で95.0%とどの年代でも安定して高い結果を出す女性に対し、男性は30代の59.0%以外はどの年代もほぼ半数からそれ以下となっており、「猛暑」「異常気象」と言われる今年であっても男女間で紫外線に対する意識に違いが見られた。

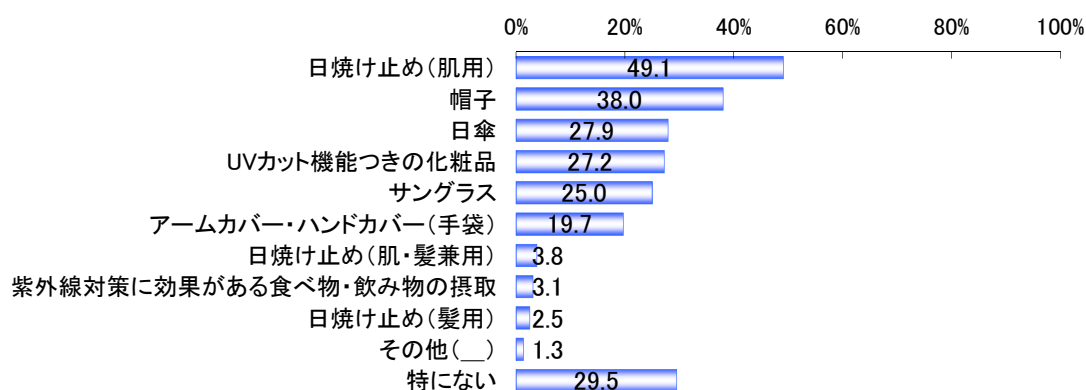
◇紫外線が気になるか (n=1,000) 単一選択 単位：%

		n (%)	気 に な る	気 に な ら な い
全体		1000 100.0	703 70.3	297 29.7
性別	男性	500 100.0	243 48.6	257 51.4
	女性	500 100.0	460 92.0	40 8.0
年代	20代	200 100.0	127 63.5	73 36.5
	30代	200 100.0	154 77.0	46 23.0
	40代	200 100.0	139 69.5	61 30.5
	50代	200 100.0	145 72.5	55 27.5
	60代	200 100.0	138 69.0	62 31.0
	性年代	男性 20代	100 100.0	38 38.0
男性 30代		100 100.0	59 59.0	41 41.0
男性 40代		100 100.0	42 42.0	58 58.0
男性 50代		100 100.0	53 53.0	47 47.0
男性 60代		100 100.0	51 51.0	49 49.0
女性 20代		100 100.0	89 89.0	11 11.0
女性 30代		100 100.0	95 95.0	5 5.0
女性 40代		100 100.0	97 97.0	3 3.0
女性 50代		100 100.0	92 92.0	8 8.0
女性 60代		100 100.0	87 87.0	13 13.0

■紫外線対策、女性は「日焼け止め（肌用）」、男性「特にない」。

次に、実際にこの夏紫外線対策として使っているものを聞いたところ、トップが「日焼け止め（肌用）（49.1%）」、次いで「帽子（38.0%）」という結果になった。この回答を性別に見ると女性は「日焼け止め（肌用）（74.4%）」がトップ、「日傘（54.2%）」、「UVカット機能付きの化粧品（53.0%）」が続いた。一方男性では、「特にない（50.6%）」、「帽子（26.6%）」、「日焼け止め（肌用）（23.8%）」という結果になった。

◇この夏、紫外線対策として使っているもの（n=1,000）複数選択 単位：%



		n (%)	日焼け止め(肌用)	日焼け止め(髪用)	日焼け止め(肌・髪兼用)	日傘	帽子	サングラス	アームカバー・ハンドカバー(手袋)	UVカット機能付きの化粧品	紫外線対策に効果がある食べ物・飲み物を摂るようにしている	その他( )	特にない
全体		1000 100.0	491 49.1	25 2.5	38 3.8	279 27.9	380 38.0	250 25.0	197 19.7	272 27.2	31 3.1	13 1.3	295 29.5
性別	男性	500 100.0	119 23.8	3 0.6	4 0.8	8 1.6	133 26.6	116 23.2	15 3.0	7 1.4	2 0.4	6 1.2	253 50.6
	女性	500 100.0	372 74.4	22 4.4	34 6.8	271 54.2	247 49.4	134 26.8	182 36.4	265 53.0	29 5.8	7 1.4	42 8.4

ただし紫外線が「気にならない」と答えた男性も、そのうち約25%が何らかの紫外線対策を行っており、20代の16.1%、30代の19.5%と年代が上がるにつれ「紫外線は気にならない」が「紫外線対策をしている」方が増加する傾向が見られた。

◇紫外線が「気にならない」と回答した男性の紫外線対策（n=257）複数選択 単位：%

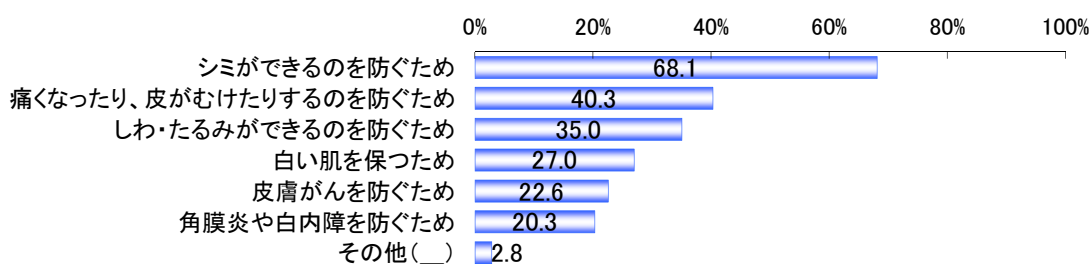
		n (%)	日 焼 け 止 め (肌 用)	日 焼 け 止 め (髪 用)	日 焼 け 止 め (肌・髪 兼用)	日 傘	帽 子	サ ン グ ラ ス	ア ー ム カ バ ー ・ ハ ン ド カ バ ー (手 袋)	U V カ ッ ト 機 能 つ き の 化 粧 品	紫 外 線 対 策 に 効 果 が あ る 食 べ 物 ・ 飲 み 物 を 摂 る よ う に し て い る	そ の 他 ( — )	特 に な い
気にならない	男性 20代	62 100.0	3 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 9.7	4 6.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	52 83.9
	男性 30代	41 100.0	4 9.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 9.8	5 12.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	33 80.5
	男性 40代	58 100.0	5 8.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 5.2	11 19.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	43 74.1
	男性 50代	47 100.0	3 6.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 17.0	6 12.8	1 2.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	34 72.3
	男性 60代	49 100.0	3 6.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 30.6	8 16.3	0 0.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	30 61.2

■男性は健康のため、女性は美容のため

紫外線対策をしている理由を聞いたところ、全体では、「シミができるのを防ぐため」が68.1%で最も高く、次いで「日焼けしたところが痛くなったり、皮がむけたりするのを防ぐため」が40.3%で続く。

全体と比較すると、男性 50代で「角膜炎や白内障を防ぐため (35.4%)」「皮膚がんを防ぐため (33.3%)」が10%以上高くなるなど、男性は病気予防のために紫外線対策をしている傾向がうかがえた。一方女性は30代の「しわ・たるみができるのを防ぐため (51.1%)」、40代の「シミができるのを防ぐため (92.5%)」など、美容を理由とする回答が高かったが、「白い肌を保つため」という回答は20代の59.8%から年代が上がるにつれて低下した。美白意識は若い世代ほど強いようだ。

◇紫外線対策をしている理由について (n=705) 複数選択 単位：%



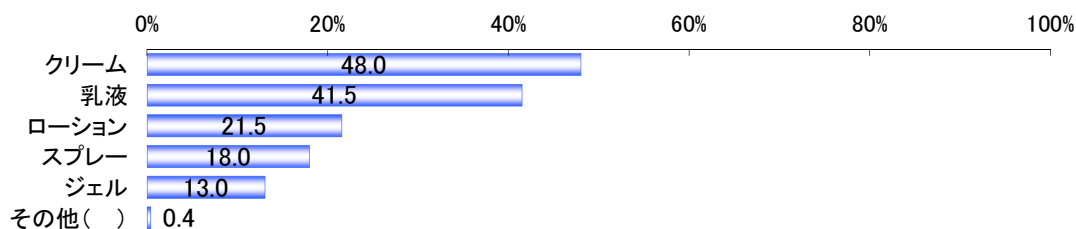
性年代	性別	n (%)	皮が焼けたり、 皮がむけたりするのを 防ぐため	シミができるのを 防ぐため	しわ・たるみができるのを 防ぐため	白い肌を保つため	角膜炎や白内障を防ぐため	皮膚がんを防ぐため	その他( )
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
性年代	男性 20代	39 100.0	25 64.1	9 23.1	7 17.9	5 12.8	9 23.1	8 20.5	1 2.6
	男性 30代	49 100.0	22 44.9	22 44.9	5 10.2	5 10.2	11 22.4	14 28.6	3 6.1
	男性 40代	45 100.0	24 53.3	16 35.6	6 13.3	5 11.1	9 20.0	12 26.7	1 2.2
	男性 50代	48 100.0	27 56.3	20 41.7	4 8.3	1 2.1	17 35.4	16 33.3	4 8.3
	男性 60代	66 100.0	33 50.0	25 37.9	9 13.6	3 4.5	21 31.8	19 28.8	2 3.0
	女性 20代	92 100.0	34 37.0	72 78.3	36 39.1	55 59.8	7 7.6	14 15.2	2 2.2
	女性 30代	94 100.0	39 41.5	84 89.4	48 51.1	43 45.7	14 14.9	12 12.8	0 0.0
	女性 40代	93 100.0	33 35.5	86 92.5	45 48.4	34 36.6	16 17.2	25 26.9	0 0.0
	女性 50代	93 100.0	23 24.7	80 86.0	48 51.6	24 25.8	17 18.3	20 21.5	1 1.1
	女性 60代	86 100.0	24 27.9	66 76.7	39 45.3	15 17.4	22 25.6	19 22.1	6 7.0

■日焼け止めは商品自体の成分や価格よりも、使い心地に要望あり。

使っている日焼け止めのタイプを聞いたところ、定番の「クリーム (48.0%)」「乳液 (41.5%)」に次いで「ローション (21.5%)」を使用している方が多いという結果になった。ローシヨ

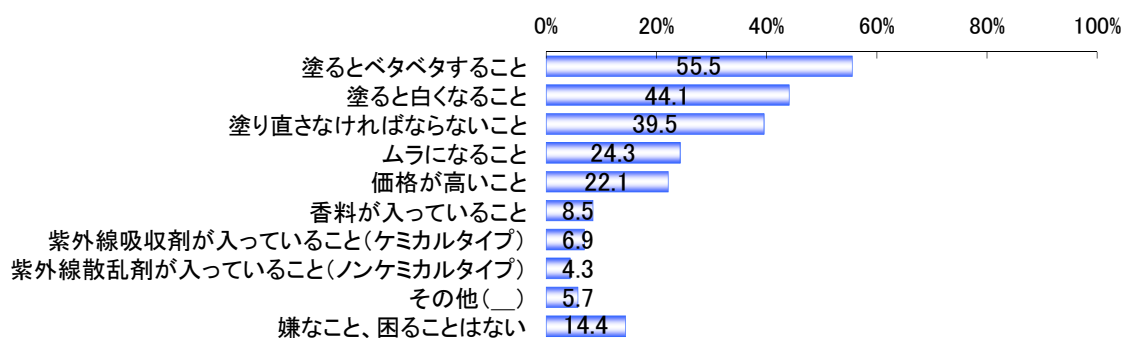
ンを使う理由を自由回答で聞いたところ、「伸びがよい」「塗りやすい」「さらっとしている」といった点が評価ポイントのようだ。

◇使っている日焼け止めのタイプについて（n=506）複数選択 単位：%



日焼け止めを使用する際に嫌なこと、困ることを聞いたところ、「塗るとベタベタすること」が55.5%で最も高く、次いで「塗ると白くなること(44.1%)」「塗り直さなければならないこと(39.5%)」というように、塗り心地に関する不満が上位にあがった。自由回答では「洗っても落ちにくい」「目に入ると痛い」といった意見がみられた。成分や価格よりも、塗り心地の良いものが好まれているようだ。

◇日焼け止めを使用する際に、嫌なこと、困ること（n=506）複数選択 単位：%



【調査概要】

調査エリア : 全国  
 調査対象者 : 20代から60代 男女  
 回収サンプル数 : 1,000サンプル  
 調査期間 : 2013年7月16日から7月17日  
 調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

以上

【お問い合わせ先】

楽天リサーチ株式会社 マーケティング企画部  
 Email : pm-rsch-clama@mail.rakuten.com